沿革小史

エフシージー総合研究所は昭和 60 年（1985）9 月、株式会社サンケイ総合研究所（サンケイ新聞プロダクションから商号変更）と扶桑社の一部門だったフジテレビ商品研究所が統合し、商号を「株式会社エフシージー総合研究所」としてスタートした。

当初の株主は、フジテレビジョン、産経新聞社、ニッポン放送の３社だったが、平成 17 年（2005）にフジテレビジョンがニッポン放送を完全子会社化したことにより、エフシージー総合研究所はフジテレビジョンと産経新聞社の２社のみを株主とする株式会社となった。

当初は、研究所のうち、フジテレビ商品研究所はフジテレビジョン内に設立されていたリビングマガジン発行の「Living Book」（リビングブック）を引き継いだ生活情報誌「ESSE」（エッセ）の広告商品審査業務等を引き続き行った。産経新聞出身者で構成されていた情報調査部は、それぞれの専門分野から国内外の情報を収集し、フジサンケイグループの幹部に提供するなどを主な業務とした。それぞれの活動範囲を棲み分けすることによって当研究所の基礎を築いた。

フジテレビ商品研究所はその後、「ESSE」の業務以外に、フジサンケイリビングサービス（現ディノス）から通販商品の審査業務を請け負うなどグループ各社への協力を中心として、業務の幅を広げた。情報調査部は、グループ経営幹部の判断に資するための情報を掲載した月刊誌「ANTENNA」（アンテナ）を発刊。この情報誌は、その後、週刊「FCG コンフィデンシャル」として、さらに内容を充実し、グループ経営幹部に情報を提供し続けている。

昭和 62 年（1987）9 月にはオフィスを西新宿の第一生命ビルに統合した。この間、労組情報センターがサンケイ新聞社から移管され、平成２年（1990）に西新宿の本社に事務所を統合した。

昭和 63 年 5 月（ロクサンゴ、1988）、産経新聞が全国紙で初めての紙面カラー化をはじめ、これに伴って産経新聞（カラー化と同時に題字を産經新聞に変更）料理面に当研究所が「料理レシピ」の掲載を開始した。調理、撮影、データベース化など一連の業務をフジテレビジョンから委託され、今日に至っている。また、一般企業からの大型研究調査の受託も始まった。

その後、サンケイ新聞データシステム（現産經新聞メディックス）からパブリシティ研究会（現フジサンケイ広報フォーラム）が移管され、企業・団体の広報担当者向けの会員制情報サービス事業を開始した。企業・団体などの広報を対象とした「メディアトレーニング（模擬記者会見を体験する訓練）」は当研究所の事業の柱の一つとなっている。この広報チームの参入により、現在のエフシージー総合研究所の組織が確立した。

当研究所のインターネットのサイトであった「食品添加物を調べてみよう」「残留農薬を調べてみよう」は、食品表示管理システム「食品大目付そうけんくん」の開発につながり、当研究所の目玉商品の一つに育ちつつある。

平成 10 年（1998）2 月、社屋を西新宿から東品川（天王洲）のフジテレビ別館（ISビル）に移転した。現在、広報誌「エフシージー総合研究所ニュース」（月刊）、広報誌「FCG 新 LABO」（年 2 回）を発行し、積極的な情報発信も行っている。

最新ビジネスとしては、環境科学研究室がカビの研究を発展させて絵画の修復、室内カビの調査などを行っている。平成 22 年（2010）には、フジ・メディア・ホールディングスの本社大会議室に掲げられている油彩「紅富士」（あかふじ）の修復で実績を上げた。

エフシージー総合研究所の前史

昭和51年（1976）

11 月	サンケイ新聞社が労組情報センターの設立を準備。労働組合の情宣活動支援を目的とした会員制で、機関紙・誌に転載自由な情報を満載した機関紙・誌原稿集「情宣ニュース」見本紙第 1 号（11/15 号）を発行
11 月 10 日	サンケイ新聞労組情報センターが初めてのセミナー「ビラ・カベ新聞づくり実務教室」をサンケイ新聞本社で開催

昭和52年（1977）

1 月	サンケイ新聞社特別開発本部労組情報センターが正式発足。「情宣ニュース」第 1 号「春の賃闘特集号」（1 / 1 号）を発行
2 月 1 日	サンケイ新聞プロダクション設立
5 月	労組情報センターが会員労組機関紙・誌の添削サービス開始

昭和53年（1978）

2 月	労組情報センターがサンケイ新聞プロダクションに移管

昭和55年（1980）

12 月 1 日	リビングマガジン設立準備室をフジテレビ内に開設

昭和56年（1981）

1 月	リビングマガジン設立準備室内に商品研究部門の審査研究室開設
1 月 7 日	鹿内信隆フジサンケイグループ議長がサンケイ新聞新年社員大会でリビング路線を「グループ第 4 の柱とする」と宣言
5 月	労組情報センターをサンケイ新聞社の正論調査会に移管
6 月 3 日	リビングマガジン設立（西新宿、第一生命ビル）、その商品研究部門がフジテレビ商品研究所として開設。「Living Book」（リビングブック）の広告商品審査・生活科学記事の制作、栄養計算、監修等の編集協力などを行う。クライアント食事会「Vip Day」（ビップデー）開催
10 月	リビングマガジンから「Living Book」創刊（11 月号）。「Good Housekeeping」誌発行元の米国ハースト社と契約。フジテレビ商品研究所は「化学研究室」「繊維・家庭用品研究室」「食品研究室」「料理研究室」「美容研究室」「手芸研究室」の 6 室で構成
昭和 56 年	「Living Book」の「えぷろんサイエンス」欄のテーマアップ、監修で協力（引き継いだ現「ESSE」の「エッセンス TIPS」欄も協力）

昭和59年（1984）

5 月 8 日	リビングマガジンから扶桑社へ社名変更。フジテレビ商品研究所も扶桑社へ。「Living Book」6 月号まではリビングマガジン発行
6 月	「Living Book」7 月号からフジテレビジョン発行に

昭和60年 (1985)

主なできごと：日航ジャンボ機墜落事故。文字多重放送本放送スタート。円高誘導のプラザ合意。**流行語：**「私はコレで会社を辞めました」「投げたらアカン」**ヒット曲：**「ミ・アモーレ」「愛人」「We Are The World」**フジテレビ：**「日航ジャンボ機生存者救出」のスクープ映像で日本新聞協会賞（編集部門）を受賞。「アルザスの青い空」「スケバン刑事」「夕やけニャンニャン」**産経新聞：**正論大賞（のちグループ正論大賞）を制定、第１回受賞者は渡部昇一氏

3月30日	サンケイ新聞プロダクションがサンケイ総合研究所に社名変更
6月	フジテレビ商品研究所が「Living Book」広告出稿企業などからの受託研究開始。初回商品は「天ぷら油クリーナー」
8月	フジテレビ商品研究所から月刊「LABO」（モノクロ）創刊、グループ各社に配布
9月2日	**サンケイ総合研究所とフジテレビ商品研究所を統合し、株式会社エフシージー総合研究所が発足**
昭和60年	フジサンケイリビングサービス（現ディノス）の通販商品の検査業務を開始

昭和61年 (1986)

主なできごと：フジサンケイグループのコーポレートアイデンティティー（CI）として「目ん玉マーク」を制定（グループ）。男女雇用機会均等法が施行。岡田有希子さん飛び降り自殺。スペースシャトル「チャレンジャー」爆発。ソ連チェルノブイリ原子力発電所で爆発事故。**流行語：**「究極」「亭主元気で留守がいい」**ヒット曲：**「DESIRE」「仮面舞踏会」「熱き心に」**フジテレビ：**「なんてったって好奇心」「ライスカレー」「時にはいっしょに」**産経新聞：**仙台印刷を開始

1月15日	情報誌月刊「ANTENNA」（アンテナ）第１号発刊
6月1日	産経新聞に生活情報コラム「くらしウォッチング」を毎週掲載（～平成２年４月30日）
10月	「Living Book」11月号から「ESSE」に誌名変更。米国ハースト社との５年契約終了。広告商品審査、編集協力、営業協力は続行。このころから記事広告の料理作成はじめる「ESSE・まずは基本からシリーズ」を監修

昭和62年 (1987)

主なできごと：コミュニケーション・カーニバル「夢工場」開催（グループ）。国鉄分割民営化。ニューヨーク株式市場で大暴落（ブラックマンデー）。**流行語：**「マルサ」「しば漬け食べたい！」**ヒット曲：**「愚か者」「女の駅」「命くれない」**フジテレビ：**24時間編成の「テレビ夢列島」放送。10月から日本初の地上波テレビの24時間放送スタート。「志村けんのだいじょうぶだぁ」「ねるとん紅鯨団」**産経新聞：**東京・芝浦、大阪・松原の両工場が完成

5月22日	サンケイ新聞労組情報センター設立10周年記念セミナー「労組の活性化をはかり感性をみがく＜映像・ビデオ入門講座＞」を開催（～23日）
6月	労組情報センターがサンケイ新聞社からエフシージー総合研究所へ移管
7月	一般企業からの大型受託研究を開始。初回テーマは「美容とエアコン」
9月	情報調査担当・総務部が大手町から西新宿・第一生命ビルに移転、全部門が１カ所に
10月	一般企業や公的機関からの嗜好調査の受託も開始。初回テーマは「ハンバーグの官能評価」

昭和63年 (1988)

主なできごと：リクルート事件発覚。海上自衛隊の潜水艦「なだしお」事故。イラン・イラク戦争８年ぶり休戦。**流行語：**「ペレストロイカ」「ハナモク」**ヒット曲：**「パラダイス銀河」「人生いろいろ」**フジテレビ：**開局30周年事業でオリエント急行を日本で走らす。「君の瞳をタイホする！」（トレンディドラマのスタート）「クイズ！年の差なんて」「とんねるずのみなさんのおかげです」**産経新聞：**題字を「サンケイ新聞」から「産經新聞」に変更。日本初の新聞（一般紙）カラー印刷スタート

5月29日	産経新聞カラー化新紙面で料理レシピの掲載を開始（～現在）
5月	フジテレビ商品研究所著「さかなの本」（発行・健学社、発売・全国学校給食協会）を出版
7月	取扱説明書用ビデオの作成はじめる。初回商品は「ホットカーラー」

平成元年 (1989)

主なできごと：第１回「高松宮殿下記念世界文化賞」（グループ）。昭和天皇崩御、昭和から平成へ。3%の消費税施行。天安門事件。ベルリンの壁崩壊。**流行語：**「セクシャル・ハラスメント」「オバタリアン」**ヒット曲：**「淋しい熱帯魚」「とんぼ」「Diamonds」**フジテレビ：**「北の国から'89帰郷」が児童福祉文化賞を受賞。「さよなら李香蘭」「F1グランプリ」「鬼平犯科帳」「邦ちゃんのやまだかつてないテレビ」**産経新聞：**フルカラー８ページ体制スタート

4月1日	商品研究部門を組織変更。食品研究室と料理研究室を統合して食品料理研究室に。繊維家庭用品研究室を家庭用品研究室と改称、新たに企画開発室を設ける
9月	ミプロ、ジェトロ、各種工業会など公的機関からの受託研究を開始。初回テーマは「輸入深鍋の評価」

平成2年 (1990)

主なできごと：礼宮さまご結婚。イラクがクウェートに侵攻。東西ドイツが45年ぶりに統一。**流行語：**「ファジー」「オヤジギャル」**ヒット曲：**「恋唄綴り」「おどるポンポコリン」**フジテレビ：**「ちびまる子ちゃん」「カノッサの屈辱」「世にも奇妙な物語」**産経新聞：**「ソ連、共産党一党独裁を放棄へ」のスクープで日本新聞協会賞（編集部門）受賞。輪転機増設で32ページ一連印刷スタート

平成3年 (1991)

主なできごと：雲仙普賢岳の火砕流で死者34人。湾岸戦争が勃発。**流行語：**「…じゃあ～りませんか」「重大な決意」**ヒット曲：**「愛は勝つ」「北の大地」「ラブ・ストーリーは突然に」**フジテレビ：**「東京ラブストーリー」「たけし・逸見の平成教育委員会」「ダウンタウンのごっつええ感じ」**産経新聞：**ワープロ送稿システムが完成

2月1日	情報調査部門を情報調査部とし、情報企画と総合情報センター（労組情報センターを改称）の２室を設ける
2月9日	産経新聞に「暮らしのミニサイエンス」の出稿を開始（月２回、～平成４年１月25日）
10月	サンケイ新聞データシステムから広報部門がエフシージー総合研究所に移管
10月	企業・団体の広報マンを対象とした会員制情報サービス組織「広報フォーラム21『プラスα』」（98年、フジサンケイ広報フォーラムと改称）がスタート。東京ヒルトンホテルで発会式。佐々淳行元内閣安全保障室長が記念講演、フジテレビ商品研究所を見学
10月	広報フォーラム21「プラスα」会報の第１号を発行

10 月	広報フォーラム 21「プラス α」の第 1 回月例会。テーマは「証券不祥事の現場から」
12 月	「飲料メーカーの広報宣伝体制調査」を受託

平成4年 (1992)

主なできごと：第一回地球環境大賞（グループ）。自衛隊をカンボジアＰＫＯ派遣。暴力団対策法と育児休業法が施行。**流行語：**「ほめ殺し」**ヒット曲：**「君がいるだけで」「悲しみは雪のように」**フジテレビ：**「愛という名のもとに」「素顔のままで」「パ・テ・オ」**産経新聞：**東京新聞との相互印刷スタート

2 月 6 日	産経新聞に「くらしの一コマ」の出稿を開始（～ 9 月 29 日）
4 月	月刊広報誌「LABO」（モノクロ）をリニューアルして月刊広報誌「FCG LABO」を創刊
5 月	広報フォーラム 21「プラス α」の月例会で宇宙開発事業団･筑波宇宙センター、アサヒビール茨城工場を見学
6 月	第 1 回広報セミナー「戦力としての広報ウーマン」を開催
7 月	フジテレビ商品研究所監修の「別冊 ESSE　暮らしのなぜに答える　えぶろんサイエンスが 1 冊になりました！」を出版（発行・フジテレビジョン、発売・扶桑社）
7 月	「'92 パブリシティ年鑑」（2 分冊）を発刊
8 月	産経新聞料理面の掲載レシピを「ESSE　おかず 770」として出版（発行･フジテレビジョン、発売・扶桑社）
8 月	広報小冊子「目配り、気配り、足配り－戦力としての広報ウーマン」を発刊
9 月	広報フォーラム 21「プラス α」の月例会で海上自衛隊横須賀基地を見学
10 月 13 日	産経新聞掲載の「ESSE　4 月号」広告に対して第 32 回「消費者のためになった広告コンクール」（出版金融保険部門）優秀賞受賞

平成5年 (1993)

主なできごと：細川護熙連立内閣が発足。皇太子さま御成婚。Ｊリーグがスタート。日本初の女性飛行士。**流行語：**「サポーター」「フリーエージェント」**ヒット曲：**「Get Along Together」「無言坂」「夏の日の 1993」**フジテレビ：**「料理の鉄人」「ひとつ屋根の下」「あすなろ白書」**産経新聞：**「仙台市長に 1 億円　ゼネコン巨額汚職」のスクープと連載写真企画「素顔の湿地」が日本新聞協会賞（編集部門）をダブル受賞。「新聞はみな同じではありません。産経新聞はモノをいうシンブンです」をプレス・アイデンティティー（PI）として発表

4 月 1 日	情報企画室と総合情報センター室を廃止、情報調査部に一本化
5 月	広報フォーラム 21「プラス α」の月例会でキユーピー五霞（ごか）工場を見学
6 月	第一回の広報実践講座「ニュースリリースの作成から配布まで」を開催
6 月	「ビールメーカーの広報宣伝活動調査」を受託
6 月	「事務機メーカーの広報宣伝活動調査」を受託
8 月	広報フォーラム 21「プラス α」の月例会で陸上自衛隊・富士総合火力演習を見学
9 月	日本工業新聞に「広報エキスパート」の掲載開始（～平成 15 年秋）
10 月	「'93 － '94 事件と広報」を発刊

平成6年 (1994)

主なできごと：自社さ連立の村山富市内閣が発足。松本サリン事件。**流行語：**「同情するなら金をくれ」「ヤンママ」**ヒット曲：**「innocent world」「ロマンスの神様」「愛が生まれた日」**フジテレビ：**終戦記念ドラマ「収容所（ラーゲリ）から来た遺書」で放送文化基金賞。「めざましテレビ」「警部補・古畑任三郎」**産経新聞：**「政治報道をめぐるテレビ朝日報道局長発言」のスクープで日本新聞協会賞（編集部門）を受賞

2 月	広報セミナー「事件と広報」を開催（以後、定番セミナーに）
6 月	広報フォーラム 21「プラス α」の月例会でキッコーマン野田工場を見学
9 月	広報セミナー「読まれる社内報とは―」を開催（以後、定番セミナーに）
11 月	広報セミナー「何がニュースになるか!」を大阪で開催（以後、定番セミナーに）
12 月	産経新聞料理面の掲載レシピを「低カロリーの一皿料理決定版　うちで食べよう、すぐできるから」として出版（飛石なぎさ著、発行・扶桑社）
12 月	「'94-'95 イベント年鑑」２分冊を発刊

平成7年 (1995)

主なできごと：阪神・淡路大震災。地下鉄サリン事件。**流行語：**「無党派」「ああ言えば上祐」「マインドコントロール」**ヒット曲：**「Overnight Sensation」「ズルい女」「TOMORROW」**フジテレビ:**「御家人斬九郎」「王様のレストラン」「ザ･ノンフィクション」**産経新聞：**漫画「ちいさなのんちゃん」の連載開始

4 月	特別講座「阪神大震災と危機管理」を大阪で開催
5 月	広報フォーラム 21「プラス α」の「部・室長会」がスタート
6 月	広報小冊子「読まれる社内報とは―」「事件と広報 PART Ⅱ」「何がニュースになるか！」をそれぞれ発刊
7 月	広報フォーラム 21「プラス α」の月例会でキリンビールのキリン横浜ビアビレッジを見学
7 月	「大手企業 10 社の危機管理・広報体制調査」を受託
10 月	グループ情報誌の月刊「ANTENNA」（アンテナ）をリニューアルして週刊「FCG コンフィデンシャル」を創刊
10 月	「広報ワンポイントアドバイス」を発刊
10 月	製造物責任法施行に伴い「ESSE」の広告商品審査を終了。編集、営業、広告の各面での協力は継続
10 月 10 日	産経新聞に「生活 110 番」を出稿（～平成 10 年 3 月 19 日）

平成8年 (1996)

主なできごと：初の小選挙区比例代表並立制による総選挙。フジテレビの台場移転開始。O（オー）157 食中毒多発。**流行語：**「自分で自分をほめてあげたい」「メークドラマ」「チョベリバ（超ベリーバッド＝最悪）」**ヒット曲：**「Don't wanna cry」「アジアの純真」「あなたに逢いたくて」**フジテレビ：**「ロングバケーション」「ナースのお仕事」「SMAP × SMAP」**産経新聞：**大型連載企画「未来史閲覧」で日本新聞協会賞（編集部門）を受賞。「東京シーサイドストーリー」創刊

2 月	「'96-'97 パブリシティ年鑑」２分冊を発刊
4 月 1 日	商品研究部の化学研究室と美容研究室を美容環境研究室として統合、調査解析室を新設
4 月	広報フォーラム 21「プラス α」の会員企業の女性広報担当者を対象に､勉強会とネットワークづくりを目的とした「女性広報担当者の会」をスタート
4 月	広報フォーラム 21「プラス α」の月例会で大日本印刷メディアパークを見学
5 月 9 日	市民シンポジウム「豊かな高齢社会づくり」を開催（共催・大津市、日本自転車振興会）
5 月 30 日	産経新聞に「暮らしちょっとさいえんす」を出稿（月２回、～平成 10 年 4 月 23 日）

5月	広報小冊子「事件と広報　PART Ⅲ」を発刊
8月	新規事業として記事広告の制作開始。初回は「ESSE」
8月	「代表企業6社の消費者相談窓口実態調査」を受託
9月	パンフレット、冊子の制作業務を開始
9月	新規事業としてホームページの制作開始
11月	「'97事件と広報」を発刊

平成9年 (1997)

主なできごと：フジテレビ本社の台場移転完了。ニッポン放送も台場移転（グループ）。東証一部上場。北海道拓殖銀行が経営破綻、山一証券が自主廃業。たまごっち。**流行語：**「マイブーム」「パパラッチ」**ヒット曲：**「CAN　YOU CELEBRATE?」「硝子の少年」**フジテレビ：**「踊る大走査線」「成田離婚」「とんねるずのみなさんのおかげでした」**産経新聞：**「北朝鮮による日本人拉致事件疑惑報道」で日本新聞協会賞（編集部門）を受賞。「モーストリー・クラシック」創刊

1月	労組情報センターが設立20周年
1月	エフシージー総合研究所としてホームページを開設
2月	産経新聞料理の掲載レシピを「ESSE　健康おかず800」として出版（発行・扶桑社）
4月26日	市民シンポジウム「エンジョイ・スポーツライフ」を企画運営して開催（共催・広島市、日本自転車振興会、国際競輪レース97広島大会実行委員会）
4月	フジテレビ「めざましテレビ・知っ得事典コーナー」に企画・出演（～平成10年8月）
5月	広報フォーラム21「プラスα」の月例会でフジテレビ新社屋（台場）を見学
6月26日	労組情報センターが「20周年感謝の集い」を日本記者クラブで開催。連合・鷲尾事務局長ら150人が参加
10月13日	商品研究部企画開発室の料理チームを食品料理研究室に統合
12月	土をよみがえらせハーブを育てる「めのでるてがみ」を発売
12月	広報フォーラム21「プラスα」の月例会で恵比寿麦酒記念館、恵比寿ガーデンプレイスを見学
平成9年	店頭用販促ビデオの作成を開始。初回商品は「掃除機」

平成10年 (1998)

主なできごと：冬季五輪長野大会。和歌山毒物カレー事件。北朝鮮が「テポドン」発射。インドとパキスタンが核実験。サッカーW杯フランス大会。**流行語：**「だっちゅーの」「冷めたピザ」「不適切な関係」**ヒット曲：**「夜空ノムコウ」「wanna Be A Dreammaker」「Automatic」**フジテレビ：**「ショムニ」**産経新聞：**10月12日発行号で2万号達成

2月9日	新宿区西新宿の新宿第一生命ビルから品川区東品川のフジテレビ別館（ISビル）へ。移転に伴い、商品研究所の化学研究室を閉鎖
2月9日	総務部を管理部、商品研究部を生活科学部、情報調査部の労組情報センターを産経新聞労組情報センター、広報フォーラム21「プラスα」を広報チームと、それぞれ改称
2月18日	市民シンポジウム「心豊かなまちづくり」を開催（共催・熊本市、日本自転車振興会）
4月	「めざましテレビ・知ってて得する　知っ得！事典」（発行・フジテレビ出版、発売・扶桑社）に編集協力
6月	フジテレビ商品研究所著「あたらしい　家庭の実用知識」（発行・新日本法規出版）を出版

10月1日	特別セミナー「BSデジタル放送時代」を日本記者クラブで開催
10月	新規事業として「スクマキャベツ（スクマウイキ）」の商品開発サポート。ドライジュース、ふりかけ、タブレットをディノスで販売

平成11年 (1999)

主なできごと：国旗国歌法が成立。初めての脳死移植。欧州連合（EU）が単一通貨ユーロを導入。**流行語：**「ブッチホン」「リベンジ」「雑草魂」**ヒット曲：**「だんご3兄弟」「Winter,again」**フジテレビ：**「とくダネ！」「サタ★スマ」**産経新聞：**「北朝鮮がテポドン発射を準備」のスクープで日本新聞協会賞（編集部門）を受賞

2月	食品の美容効果モニター試験受託開始
3月	FCGコンフィデンシャル特別版「新聞が生き残るために」を発刊
3月25日	産経新聞に「ぎもん解凍」を出稿（月1回、～平成13年1月18日）
4月	フジサンケイ広報フォーラムの月例会で富士写真フイルム足柄工場を見学
7月	食品メーカー団体の広報活動調査を受託
8月8日	「食品添加物を調べてみよう」無料サイトオープン。のちに食品表示管理システム「食品大目付そうけんくん」に発展
8月	酒造メーカー団体の広報活動調査を受託
9月	暮らしの手帖社出版の「45歳　これからが楽しい　別冊暮らしの手帖　1999年版」に協力
9月以降	情報調査部で以下の調査を受託 ・製品回収事件のマスコミのヒアリング調査 ・遺伝子組み換え食品問題、製品への異物混入事件などに関するマスコミのヒアリング調査 ・工場火災における広報対応ならびに危機管理体制調査 ・オーラルケア商品の研究開発、マーケティング活動調査 ・メーカーの再建シナリオに関するマスコミのヒアリング調査 ・食品の表示偽装問題に関するマスコミの見解調査 ・今年の株主総会に対する経済部記者の見方　分析調査 ・新薬開発にあたっての厚生省、メーカーの対応に関する調査 ・IT関連事件・事故4ケースの事件詳細、広報対応、今後の課題調査 ・ユーザーテスト実施状況、企業および専門機関の実態調査
12月号	月刊「VOCE（ボーチェ）・実験VOCE」（講談社）に編集協力（～現在）
平成11年	フジテレビ番組「どうーなってるの?!」ほかの通販コーナーに協力（～現在）
平成11年	産経新聞掲載の料理レシピを「いただきます!」（発行・サンケイ総合印刷、販売店用販促物）へレシピ提供（～現在）

平成12年 (2000)

主なできごと：沖縄サミット。2000円札発行。シドニー五輪、女子マラソンで高橋尚子選手が金メダル。**流行語：**「おっはー」「IT革命」「ジコチュー」**ヒット曲：**「TSUNAMI」「桜坂」「箱根八里の半次郎」**フジテレビ：**BSフジが放送開始。「クイズ＄ミリオネア」「やまとなでしこ」**産経新聞：**角川書店と共同で「SPORTS Yeah！」発刊。新東京サンケイビルへ移転

2月18日	特別セミナー「21世紀　究極の情報メディア」をホテルニューオータニで開催
4月	フジテレビ商品研究所著「簡単 長もち生活事典」（発行・扶桑社）を出版
7月18日	ホームページに「ファッションちょっとアドバイス」サイトをオープン

8月	模擬記者会見を体験する「メディアトレーニング」事業をスタート。初回のクライアントは大阪の外資系化学メーカー
9月	暮らしの手帖社発行の「60歳　これからが楽しい　別冊暮らしの手帖　2000年版」に協力
12月	グループ外にも通販サポートビジネスを開始。初回は洗剤の表示
平成12年	ベネッセの季刊誌「ボン・メルシィ　生活の？を試します　ボン・メルシィ実験室」に編集協力（～平成19年）。ベネッセの月刊誌「いぬのきもち」「ねこのきもち」に衛生管理記事を提供
平成12年	フジテレビ番組「とくダネ！」「スーパーニュース」などの撮影、出演協力はじめる。日本テレビ、ＴＢＳ、テレビ東京などにも出演

平成13年（2001）

主なできごと：中央省庁の1府12省体制スタート。米で「9・11同時多発テロ」**流行語:**「抵抗勢力」「明日があるさ」「ファイナルアンサー」**ヒット曲:**「Can You Keep A Secret?」「Dearest」「波乗りジョニー」**フジテレビ：**「コンフェデレーションズカップサッカー決勝・日本×フランス」が民放の年間最高視聴率37.9％。「こたえてちょーだい！」「HERO」「すぼると！」**産経新聞：**「衝撃に震える児童―大阪教育大付属池田小事件」の写真で日本新聞協会賞（編集部門）を受賞

4月1日	生活科学部を①企画開発部（メディア開発室・食品料理研究室）②暮らしの科学部（美容科学研究室・生活情報研究室・商品研究室）に分割
4月1日	産経新聞「らくらくCooking Web」に料理面掲載のレシピデータの提供を開始
8月	フジサンケイ広報フォーラムの月例会でリコー沼津営業所を見学
9月	産経新聞料理面の掲載記事を「ハンディESSE19 おいしいお茶、いれよ」（発行・扶桑社）として出版
10月30日	「おうちでできる即効若返り術」（発行・フジテレビ出版）を監修
平成13年	フジサンケイリビングサービスのホームページ「Kaw Kaw station」の「教えてフジテレビ商品研究所」コーナーにコンテンツ原稿の提供をはじめる

平成14年（2002）

主なできごと：小泉純一郎首相訪朝、拉致被害者5人が帰国。サッカーW杯日韓大会。**流行語：**「タマちゃん」「貸し剥がし」「びみょー」**ヒット曲：**「涙そうそう」「ワダツミの木」**フジテレビ：**「シリーズ検証・C型肝炎」で日本新聞協会賞（編集部門）を受賞。サッカーW杯日韓大会「日本×ロシア」が年間最高視聴率66.1％。「空から降る一億の星」「真珠夫人」**産経新聞：**4月から東京発行の夕刊廃止、「新朝刊」へ

3月26日	「FCGコンフィデンシャル特別版」発行（産経新聞夕刊廃止に伴う「新朝刊」と値下げによる価格効果について緊急アンケート調査内容を掲載）
3月	広報小冊子「日本経済再生への道」を発刊
5月	「きょうの健康シリーズ　肌のトラブルで悩む人に」（発行・NHK出版）の一部監修
7月3日	広報セミナー「新任広報マン夏期講座」（週1回、全5回）を開催
9月	フジサンケイリビングサービスのホームページ「dinos Ricco（現 Hot dinos）」の「教えて！フジテレビ商品研究所」に生活情報を提供
10月1日	「東京サンケイビルグランドオープン・サンケイビル創立50周年記念」としてFCG懇話会と共催で、3日間の特別セミナーを東京・大手町のサンケイプラザで開催（～10月3日）

10月3日	上記特別セミナーの一環として奥田碩経団連会長がサンケイプラザで「日本経済再生の道」をテーマに特別講演
11月	フジサンケイ広報フォーラムの月例会で箱根仙石原のポーラ美術館を見学
平成14年	外資系医療機器メーカーからメディアトレーニングを受注

平成15年（2003）

主なできごと：イラク戦争開戦。新型肺炎（SARS）の世界的流行。**流行語:**「毒まんじゅう」「なんでだろう～」「マニフェスト」**ヒット曲：**「世界に一つだけの花」「No way to say」「地上の星」**フジテレビ：**地上デジタルの本放送スタート。「白い巨塔」「トリビアの泉」「ネプリーグ」「クイズ！ヘキサゴン」**産経新聞:**「月刊TVnavi」と「TVnavi関西」を創刊

3月	ホームページをリニューアル。フジテレビ商品研究所のコーナーに「商品研究レポート」「研究所レポート」「TV・新聞協力レポート」を開設
6月	フジサンケイ広報フォーラムの月例会で花王すみだ事業場を見学
7月1日	情報調査部に情報企画を新設
10月1日	東京サンケイビルグランドオープン1周年記念イベント「メトロスクエアまつり」に協力
11月	産経新聞料理面の掲載記事をつかった「取り寄せできる　日本の名産ものがたり」（発行・アスコム）に編集協力
11月	フジサンケイ広報フォーラムの月例会で電源開発の東京臨海風力発電所と磯子火力発電所を見学
12月	労組情報センターの「新年原稿集」を「情宣ニュース」12月号に吸収し「臨時増刊号」とする
平成15年度	メディアトレーニングを4社8件受注（大手機械メーカー、大手運送会社、大手広告代理店、大手重工業メーカー。同一社複数事業所での実施を含む）

平成16年（2004）

主なできごと：中越地震。79年ぶりの鳥インフルエンザ発生。アテネ五輪。スマトラ島沖地震。**流行語:**「チョー気持ちいい」「気合だー！」**ヒット曲:**「Sign」「瞳をとじて」**フジテレビ：**11年ぶりに年間視聴率3冠王に返り咲き。「脳内エステIQサプリ」「大奥～第一章～」「天国の階段」**産経新聞：**「フジサンケイビジネスアイ」新創刊

1月	広報セミナー「クレーム対応と危機管理」を開催（以後、定番セミナーに）
3月3日	フジサンケイビジネスアイに「危機管理／コンプライアンス」の掲載を開始
3月20日	フジサンケイビジネスアイに「トレンド商品研究」（現・優品Zoom Up）の掲載を開始（～現在）
3月31日	フジサンケイビジネスアイに「トップ広報のツボ」の掲載を開始
4月20日	フジサンケイビジネスアイに「座談会　企業の社会的責任を考える」を5回掲載
5月	フジサンケイ広報フォーラムの月例会で鹿島建設の首都高速中央環状線新宿線の松見坂－代々木シールド工事現場を見学
6月	産経新聞料理面の掲載記事をつかった「おいしく食べる　楽しくはかる　生活習慣病講座」（発行・産経新聞ニュースサービス、発売・日本工業新聞社）に編集協力
6月	初の大学向け広報セミナー「大学改革と広報戦略を考える」を開催
9月	有料サイト「食品添加物大事典」をオープン
平成16年度	メディアトレーニングを4社・1団体から8件受注（大手電鉄、不動産会社、大手重工業メー

	カー、社団法人、通信販売会社。同一社複数事業所での実施を含む）
平成 16 年	労組情報センター発行の「カット集」を冊子から CD-ROM 販売に
平成 16 年	産経新聞料理面の掲載レシピを「くらしの百科」（発行・産経新聞開発）に提供（～現在）

平成17年 (2005)

主なできごと：ライブドア事件。衆院選「郵政選挙」で自民党が大勝。愛知万博。JR 福知山線脱線事故。**流行語：**「小泉劇場」「萌え～」「クールビズ」**ヒット曲：**「Butterfly」「青春アミーゴ」**フジテレビ：**動画配信サービス「フジテレビ on Demand」スタート。「優しい時間」「電車男」**産経新聞：**大阪本社が難波の新社屋へ移転。産経デジタルを設立

2 月	初の病院向け広報セミナー「医療事故・過誤 実践メディアトレーニング」を開催
3 月	名古屋で広報セミナー「災（わざわい）にどう対応するか―危機管理と緊急時対応」を開催
3 月	産経新聞料理面の 1 ページ建てが終了（昭和 63 年のスタートからのレシピ開発の合計は 1 万 5560 点）
4 月	産経新聞料理面の出稿は 1 日 1 レシピで月～土掲載に変更（～現在）
5 月	「メンタルヘルスセミナー」を開催
6 月	フジサンケイ広報フォーラムの月例会で「検証　JR 西日本のマスコミ対応」を開催
7 月	残留農薬データベースの無料サイト「ポジティブリストで残留農薬を調べてみよう」をオープン
8 月	フジサンケイ広報フォーラムの月例会で弊社社長の境政郎が「今だから明かせる、ライブドアとの攻防 70 日間」をテーマに講演
8 月 1 日	暮らしの科学部の生活情報研究室を環境科学研究室に改称
9 月 1 日	エフシージー総合研究所の月刊広報誌「エフシージー総合研究所ニュース」（A4 判で表裏）を発刊（～現在）
10 月 19 日	「食品添加物大事典 1 周年記念セミナー」を東京・大手町のサンケイプラザで開催
11 月	産経新聞料理面の掲載記事をつかった「脇雅世のお菓子と道具」（発行・主婦の友社）の企画・構成を担当
11 月	フジサンケイ広報フォーラムの月例会で凸版印刷の印刷博物館を見学
11 月	労務・総務担当者向けに「企業年金セミナー」を開催
12 月	産経新聞料理面の掲載記事をつかった「ハイカラおばあちゃんのおやつ」（発行・主婦の友社）の企画・構成を担当
平成 17 年度	メディアトレーニングを 6 社 6 件受注（大手機械メーカー、外資系金融機関、大手旅行代理店、大手重工業メーカー、大手食品メーカー、印刷会社）

平成18年 (2006)

主なできごと：ワールド・ベースボール・クラシック（WBC）で日本が優勝。北朝鮮が核実験。**流行語：**「ハンカチ王子」「メタボリックシンドローム」**ヒット曲：**「粉雪」「千の風になって」「純恋歌」**フジテレビ：**ワンセグ本放送スタート。「西遊記」「Dr. コトー診療所 2006」「のだめカンタービレ」**産経新聞：**タブロイド紙「SANKEI　EXPRESS」を創刊

1 月 14 日	「ニッポン食育フェア」（国際フォーラム）にディノス、フジランドと共同出展
2 月	「きっかけは朝ごはん」サイトをオープン
2 月	広報セミナー「全国各地への情報発信を考える～メディアをうまく活用しよう」を開催
3 月	フジサンケイビジネスアイの「ファッションラボ」に毎週出稿（～平成 20 年 3 月）

3 月 14 日	国際食品・飲料展「FOODEX」（幕張メッセ）で南米食材紹介に出展協力
4 月 3 日	第 1 回メディアの未来勉強会「新聞業界とインターネット事業」。講師は産経デジタル社長・阿部雅美氏、産経デジタル・土井達士氏
4 月 24 日	第 2 回メディアの未来勉強会「本格的なデジタル化を前にした、テレビ業界の現状と課題」。講師はフジテレビ・デジタルコンテンツ局長・石川順一氏、フジテレビ・デジタル企画室副部長・加藤浩輔氏
4 月	広報セミナー「ネットを活用した戦略的な情報発信」を開催
5 月 15 日	第 3 回メディアの未来勉強会「海外のマスコミとインターネット」。講師は産経デジタル取締役・近藤哲司氏
5 月 29 日	第 4 回メディアの未来勉強会「ネット社会の新潮流－メディアの変貌」。講師は国際社会経済研究所研究理事・青木日照氏
5 月	広報セミナー「内部告発、特殊ジャーナリズムへの対応、お詫び広告を考える」を開催
6 月 19 日	第 5 回メディアの未来勉強会「メディア・クロスオーバー時代のマーケティング・コミュニケーション戦略～ネットで、口コミで消費者は強くなった。コミュニケーションビジネスはどうだ？」。講師は電通・消費者研究センタープランニングディレクターの四元正弘氏
7 月 1 日	企画開発部の食品料理研究室を暮らしの科学部へ移管
7 月 3 日	第 6 回メディアの未来勉強会「テレビと IP マルチキャスト～制度・著作権・ビジネスの観点から」。講師はフジテレビ・デジタル企画室副部長・加藤浩輔氏
7 月 24 日	第 7 回メディアの未来勉強会「一休のできるまで、一休の現状、一休の今後の戦略」。講師は一休社長、森正文氏
8 月	産経新聞料理面の掲載記事をつかった「食材力で元気になる旬ごはん」（発行・河出書房新社）の編集を担当
8 月 26 日	東京食育推進ネットワーク主催の食育イベント（深川政府倉庫）に参加
9 月 11 日	第 8 回メディアの未来勉強会「放送は今後も成長し続ける」。講師はフジテレビ経営戦略室長・金光修氏
9 月 26 日	第 9 回メディアの未来勉強会「知的財産権をめぐって」。講師は内閣官房知的財産戦略推進本部事務局長・荒井寿光氏
10 月 2 日	第 10 回メディアの未来勉強会「インターネットの過去、現在、未来」。講師はインターネットイニシアチブ（IIJ）代表取締役社長・鈴木幸一氏
10 月 23 日	第 11 回メディアの未来勉強会「ネットやケータイによる音楽配信の状況、問題点、展望」「ネットによる映像配信のうごき、著作権者の動向」。講師はポニーキャニオン社長・桐畑敏晴氏
10 月	別冊 ESSE「覚えておきたい！暮らしの基本 100　料理・洗濯・掃除・マナー・防災 etc.」（発行・扶桑社）に取材協力
10 月	フジサンケイ広報フォーラムの月例会で羽田の全日空機体メンテナンスセンターを見学
11 月 7 日	第 12 回メディアの未来勉強会「デジタル時代におけるテレビ視聴」。講師はビデオリサーチ・メディア企画推進部長・尾関光司氏
11 月	メディア開発室と食品料理研究室が食品表示管理システムの本格稼動に向けデータベース化の作業開始
平成 18 年	フジテレビ番組「めざましテレビ・めざにゅー」のレシピ作成・撮影に協力（～平成 19 年）
平成 18 年度	メディアトレーニングを 6 件受注（私立大学、大手重工業メーカー、大手ゲームソフト会社 2 社。同一社複数事業所での実施を含む）

平成19年 (2007)

主なできごと：食品偽装問題が多発。男子プロゴルフツアーで石川遼選手が史上最年少優勝。**流行語：**「KY（空気が読めない）」「ハニカミ王子」「どげんかせんといかん」**ヒット曲:**「蕾」「ひとり薩摩路」**フジテレビ:**「新報道プレミア A」「ガリレオ」**産経新聞：**MSN と提携し「MSN 産経ニュース」サイトを開設

1 月 26 日	大学新聞の製作を受注、第 1 号発行（年 4 回）
2 月	産経新聞料理面に掲載したレシピ集「今日のおすすめレシピ」サイトをオープン
3 月	フジサンケイ広報フォーラムの月例会で防衛省（市ヶ谷）を見学
3 月	メディアの未来勉強会の講義をまとめた「テレビ、新聞の明日は　－ある勉強会からの報告」を発刊、グループ幹部に配布
6 月 1 日	「悪玉コラム」サイトをオープン
8 月	公営事業の会社の危機管理マニュアル「緊急時のマスコミ対応マニュアル」を受注
12 月	フジサンケイ広報フォーラムの月例会でフジテレビ湾岸スタジオを見学
平成 19 年度	メディアトレーニング 7 社・1 団体から 10 件受注（大手ソフトウエア会社、大手ハウスメーカー、外資系自動車部品会社、大手化学メーカー、大手ガス会社、大手商社、社団法人、大手事務機器販売会社。同一社複数事業所での実施を含む）

平成20年 (2008)

主なできごと:米リーマン・ブラザーズが経営破綻。日本人 4 人（1 人は米国籍）がノーベル賞を受賞。**流行語：**「グ～！」「アラフォー」「あなたとは違うんです」**ヒット曲：**「Ti Amo」「愛のままで…」**フジテレビ：**フジ・メディア・ホールディングス設立。「ミャンマー軍兵士による長井健司さん銃撃の瞬間ビデオ映像」スクープで日本新聞協会賞（編集部門）を受賞。「風のガーデン」「CHANGE」**産経新聞:**漫画「ひなちゃんの日常」を 1 面に移し、全国紙初の 1 面漫画連載をスタート

2 月 25 日	弊社社長・境政郎著「テレビショッピング事始め」（発行・扶桑社）を出版
3 月 20 日	広報誌「FCG 新 LABO」を創刊（年 2 回発行）
4 月	食育プロジェクト「いっぽんどっこの会」を立ち上げ
5 月	フジサンケイ広報フォーラムの月例会で石川嘉延静岡県知事が「知事自らが広報マン－静岡県の広報戦略」をテーマに講演
5 月	広報セミナー「CSR が価値を決める－コンプライアンス、危機管理、社会貢献を考える」を開催
7 月 8 日	「ビューティーちょっとアドバイス」サイトをオープン
9 月 19 日	食品表示管理システム「食品大目付そうけんくん」を商標登録。新規事業として「食品大目付そうけんくん」が始動
9 月 23 日	広報誌「FCG 新 LABO」Vol.002 を発行
9 月	フジサンケイ広報フォーラムの月例会で横浜港に接岸中の商船三井のクルーズ客船「にっぽん丸」を見学
9 月	メディアの未来勉強会のテレビ中心の講義をまとめた「テレビの底力　―ある勉強会からの報告」を発刊、グループ幹部に配布
10 月 1 日	フジ・メディア・ホールディングス設立に伴い、エフシージー総合研究所が同ホールディングスの子会社となる
10 月 6 日	フジサンケイビジネスアイに出稿している「トレンド商品研究」が「優品 Zoom Up」と改称（～現在）
10 月 15 日	「食品大目付そうけんくん」を東京ビックサイトで開催の「食品開発展」に出展

11 月	サンケイリビング新聞の携帯サイト「シュフモ・暮らしのヒント」に情報提供（～平成 22 年 10 月）
平成 20 年度	6 社 11 件のメディアトレーニングを受注（外資系金融機関、旅行会社、大手重工業メーカー、大手化学メーカー、大手食品メーカー、大手ガス会社。同一社複数の実施を含む）

平成21年 (2009)

主なできごと：政権交代で鳩山由紀夫内閣が発足。米自動車大手 GM が経営破綻。**流行語:**「草食系男子・肉食系男子」「婚活」「歴女」**ヒット曲:**「Someday」「また君に恋してる」**フジテレビ:**「BOSS」「任侠ヘルパー」**産経新聞:**「九州・山口版」を創刊

3 月 20 日	広報誌「FCG 新 LABO」Vol.003 を発行
4 月 17 日	東京家政大学で冠講座「生活と環境」を開講（週 1 回 15 コマ、前期）
4 月	環境科学研究室の美術館管理サポートビジネスが始動
4 月	フジ・メディア・ホールディングス CSR 活動の統一スローガンに弊社提案の①食育プロジェクト「いっぽんどっこの会」②省エネとダイエットを兼ねた「みんなそろって階段児！」が選ばれる
4 月	産経新聞料理面に出稿の「フジテレビアナウンサーのおうちごはんレシピ」の掲載開始（水曜掲載～平成 22 年 9 月）
5 月	扶桑社ホームページ「EFiL.Net Beauty Laboratory」（エフィル・ネット　ビューティラボラトリー）に美容情報を提供
8 月	環境科学研究室長・川上裕司が「博物館・美術館の生物学　カビ・害虫対策のためのＩＰＭの実践」（発行・雄山閣）を共著で出版
8 月 20 日	「食品大目付そうけんくん」事業で食品流通システムのｅ BASE（イーベース）社と業務提携
9 月 23 日	「FCG 新 LABO」Vol.004 を発行
10 月	フジサンケイ広報フォーラムの月例会でアサヒビール茨城工場を見学
10 月	フジサンケイビジネスアイに「広報で克つ　大学淘汰時代」の掲載開始
10 月 11 日	東京農大キャンパスで開かれた東京都食育フェアに出展、料理教室も開催
11 月	広報セミナー「事件が起きたら何をしなければならないか」を開催
平成 21 年度	2 社 8 件のメディアトレーニングを受注（大手化学メーカー、大手重工業メーカー。同一社複数の実施を含む）

平成22年 (2010)

主なできごと：宮崎県で口蹄疫発生。**流行語:**「イクメン」「いい質問ですねぇ」**ヒット曲：**「I Wish For You」「ありがとう」「トイレの神様」**フジテレビ：**「開局 50 周年記念スペシャルドラマ　『わが家の歴史』」「フリーター、家を買う」

1 月	環境科学研究室長・川上裕司ら企画・編集の「お母さんと家族のための新型インフルエンザ対策Ｑ＆Ａ」（発行・竹内書店新社）を出版
1 月	広報セミナー「いま、テレビをどう活用するか」を開催
2 月	組合系団体の広報危機管理マニュアル「危機管理とマスコミ対応」を作成
3 月 22 日	「FCG 新 LABO」Vol.005 を発行
3 月 24 日	環境科学研究室がフジテレビ大会議室の大油彩「紅富士」（あかふじ）の修復作業を完了
3 月	広報セミナー「インターネット広報基礎講座」を初テーマで開催
4 月 16 日	東京家政大学で 2 年目の冠講座「生活と環境」を開講（週 1 回 15 コマ、前期）
5 月	「『自然素材』でかんたん防虫　身近なものをつかった虫よけ・虫退治法」（発行・PHP 研究所）

	を一部監修
5月	大学広報担当者向け会員制勉強会「フジサンケイ大学広報フォーラム」がスタート。第1回勉強会を兼ねた広報セミナー「本当に強い大学の広報力とは」を開催
6月8日	「食品大目付そうけんくん」を東京ビッグサイトの「FOOMA JAPAN 国際食品工業展」に出展（～11日）
9月23日	「FCG新LABO」Vol.006を発行
9月	産経新聞料理面の掲載記事をつかった「フジテレビアナウンサーのおうちごはん」（発行・扶桑社）に協力
10月	「記者会見にいちばん大切なことを記者が教えます」（発行・産経新聞出版、発売・日本工業新聞社）を出版
11月	産経新聞料理面の掲載記事をつかった「おかあさんの思い出ごはん」（発行・亜紀書房）の編集を担当
11月	サンケイリビング新聞の携帯サイト「シュフモ・基本のキ　料理」に情報を提供（～現在）

平成23年
(2011)

3月21日	「FCG新LABO」Vol.007を発行
3月21日	設立25周年記念で「株式会社エフシージー総合研究所25年のあゆみ」を刊行
4月15日	東京家政大学で3年目の冠講座「生活と環境」を開講（週1回15コマ、前期）（予定）
5月18日	「食品大目付そうけんくん」を東京ビッグサイトの「第16回国際食品素材／添加物展・会議」に出展

平成24年
(2012)

平成24年（2012）5月	江東区青海　ダイバーシティ東京オフィスタワーに社屋移転

平成23年（2011年）3月21日発行
不許複製

株式会社エフシージー総合研究所25年のあゆみ

〔非売品〕

発行人　境　政郎
発行　株式会社エフシージー総合研究所
東京都品川区東品川3-32-42フジテレビ別館（ISビル）6階
ＴＥＬ　03-5495-1500（代）
ＦＡＸ　03-5495-1520
http://www.fcg-r.co.jp/
企画・制作　社内25周年プロジェクト「チーム25」
協力　尚文社

※発行当時の記載内容です